

12 議会だより

newsletter

月定例会

敦賀市議会

敦賀市立博物館修復完了



平成24年8月20日から休館し、建物修復工事を行っていた敦賀市立博物館ですが、平成27年1月30日にすべての工事が終了しました。

福井県指定文化財である旧大和田銀行建物の、内装等をできる限り当初のスタイルに戻し、破損・劣化部分の健全化を行い、生まれ変わった博物館。

2月21日と22日には修復工事完了記念建物見学ツアーと題し、展示物を設置する前の建物内部が公開され、多くの方が参加されました。

あとはリニューアルオープンを待つばかりです。



▲写真上…博物館1階
銀行カウンター
写真下…博物館2階
貴賓室

平成27年7月4日
リニューアルオープン!!

目次

- 意見書の提出・・・・・・・・・・・・・2
- 常任委員会審査報告・・・・・・・・・・3～5
- 特別委員会中間報告・・・・・・・・・・6～7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・8～12
- 審議結果一覧・・・・・・・・・・・・・13
- 議会日誌、3月定例会の日程・・・・・・14

意見書の提出

今定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が可決され、国会及び関係省庁に提出いたしました。意見書の件名及び要望事項は下記のとおりです。
なお、意見書全文については敦賀市議会ホームページで公開しています。

○今後の水田農業政策に関する意見書

1 担い手経営安定対策の強化について

現行の担い手経営安定対策である収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）については、過去の収入をもとに補填基準が算定されるため、中長期的に収入が逡減する中では経営安定への十分な機能が発揮されない仕組みであるので、制度の見直しをお願いしたい。

また、最大でも収入減少の2割までしか補填対象とならず、大幅な米価下落の場合には、ナラシ対策だけでは担い手農家が営農を継続することは困難となるので拡充を図ること。

さらに、需要に応じた生産に取り組んだとしても、豊凶変動は避けられず凶作については、政府備蓄米からの用途変更が措置されているが、豊作については何も講じられていないので、豊作による需給緩和を改善するための制度を構築すること。

2 水田フル活用対策の継続について

本県は、大麦、ソバ、大豆等を中心とした土地利用型の営農体系を維持しており、自給率向上のためにもこれらに対する支援を継続・拡大すること。

また、今後、飼料用米を計画的に拡大していくため、水田活用の直接支払交付金の長期的な支援をお願いしたい。

3 将来展望の描ける総合的な水田農業政策の確立について

わが国の主食であるコメについては、毎年安定した価格で生産・供給できることが生産者・消費者双方にとって望ましく、30年産を目標にした生産調整の見直しに向けては、JAグループだけでなく、国、地方行政、関係団体等が一体となって取り組むべきものであり、新たな米政策の十分な検証とともに地域の担い手の確保・育成など、さらなる環境整備をお願いしたい。

○農業改革に関する意見書

1 意見反映について

JAグループでは、諮問機関である総合審議会において、自己改革に向けたとりまとめを行い、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、新たなJAの役割発揮を果たしていくこととしており、これら組織内での意見や生産現場での実態を踏まえた検討をお願いしたい。

2 中央会制度について

新たな中央会制度は、新農政の実現に向け、JAの自立を前提としたものとし、組合員やJAが求める機能・役割を発揮する自律的な新たな制度への移行をめざすこととしており、これら機能・役割が十分に発揮できるよう法的措置の検討をお願いしたい。

また、現行の中央会制度においては全中、県中それぞれがあいまって機能しており、そうした機能発揮に支障がないよう対応をお願いしたい。

○敦賀発電所敷地内破砕帯の審議についての意見書

1 科学的・技術的な議論を尽くし、有識者の評価の根拠を明確に示すこと。

2 より幅広い分野の専門家を参加させ、公平・公正に審議を行うこと。

3 評価に携わった者が地元に対し、審議の状況を、科学的・技術的根拠を示しつつ、丁寧に分かりやすく説明するなど、説明責任を果たすこと。

常任委員会審査報告

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを予備的に審査する場です。

「予算決算」「総務民生」「産経建設」「文教厚生」の各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

● 予算決算 ● 常任委員会

〔第83号議案〕

平成26年度敦賀市一般会計補正予算（第6号）

質疑

◎特別支援教室等改修事業費に
連して

問 工事の内容は。

答 敦賀南小学校と栗野小学校において、放課後児童クラブを1階に開設するため、現在1階にある特別支援教室を2階の余裕教室に移動させるものである。



◎敦賀港駅ランプ小屋整備事業費
に
関連して

問 建物内部を復元するのとこの
とだが、当時の資料は残って
いるのか。

答 国内に数点残っているもの
を、今回の設計業務委託にお

いて調査する。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第84号議案〕

平成26年度敦賀都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）

質疑

問 土地開発基金用地購入費と
財産売払収入との関係は。

答 基金から土地を買い戻し、
それを売却する。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第91号議案〕

平成26年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）

質疑

企業立地補助金の効果は。

問

答 雇用は正規で29人であり、
投下固定資産47億5千万円に
対する固定資産税が市に入ってくる。

る。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第92号議案〕

平成26年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第3号）

質疑

問 看護師勤務環境改善事業費
に
連して、更衣室整備とし
ては金額が多いが理由は。

答 昭和54年建築の建物のた
め、天井や壁、床、照明など
ほとんどを改修するため。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

決算認定

9月定例会から継続審議となっ
ていた第71号議案 平成25年度敦
賀市歳入歳出決算認定の件ほか2
件の決算案件について、11月10日
および13日に審査を行い、いずれ
も賛成多数をもって認定すべきも
のと決定しました。

総務民生 常任委員会

〔第95号議案〕
職員の給与に関する条例及び敦賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正の件

質疑

問 敦賀市の職員給与は、県下での位置づけが低いと感じるが、どう考えるか。

答 敦賀市は、行政職給料表1級の主事級職員が多いという職員構成が関係して、全般的に低くなると考えている。

問 特定任期付職員についてあると思うが、給料表で対応できるのか。

答 給料表によりがたい場合は、市長の承認を得て調整できる旨、条例に規定されている。

討論

賛成 職員給与は、公務員改革のなかで減額を続けて

きたが、働きのいのある給与体系は大事である。県下の位置づけ、市の財政との兼ね合い等、全体的なバランスを図る工夫が必要であるし、意識していただきたい。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

産経建設 常任委員会

〔第97号議案〕
指定管理者の指定の件
※敦賀市農産物直売所

質疑

問 当初の指定管理料と比較し現在の実績は怎么样了っているか。

また、利益が出た場合、市に返ってくる部分はどれぐらいか。

答 指定管理料の推移は、年々減少している。

利益が出た場合の比率は、2分の1以内となっており、平成24年度29万円、平成25年度42万3千円という結果が出ている。

討論

賛成 前回から引き続きの形になるが、指定管理料も下げていく計画であり、なおかつ、利益が出た分は敦賀市にも納付するというところで、指定管理者には頑張っていたいただきたい。

採決 全会一致

敦賀市としては、農産物直売所とリンクし利益を上げてもらい、それが還付されるような形を作ってもらえたら良いと思う。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔陳情第3号〕
今後の水田農業政策に関する陳情

意見 担い手について、豊作・凶作への補償が不十分であり、しっかりと安定対策が必要だと思う。

また、水田フル活用についても、日本は人口が減少しているが世界的にはふえており、今は輸入で賄っていても、輸入できなくなるような時期が来るかもしれない。そういう意味では、水田はしっかりと守りふやしていくべきと考える。

採決 全会一致
採択すべきものと決定

〔陳情第4号〕
農業改革に関する陳情

意見 この農業改革は、規制緩和を目的としているが、規制緩和にはメリットとデメリットがあり、地域の特性を考えれば、陳情の内容に沿って意見書を出すべき。

意見 都会で考えていることは地方の実態に合っていないと思う。JAや現場の意見を踏まえた上での再検討をお願いしたいということが強く書かれており、良いと思う。

採決 全会一致
採択すべきものと決定

10月31日に、議会報告会における市民意見として提案のあった、各観光案内看板の設置状況について所管事務調査を実施し、理事者ととも現況調査を行いました。

文教厚生
常任委員会

〔第96号議案〕

敦賀市特定疾患特別見舞金支給条例の一部改正の件

質疑

問 国の医療費助成制度の改正に伴う条例改正とのことだが、その詳細は。

答

難病の患者に対する医療等に関する法律が平成27年1月1日から施行され、新たに医療費助成の対象疾患がふえる予定である。同法では経過措置の3年間において、既認定者と新規認定者の自己負担額に差が生じるため、現行の56疾患を基本に分類を拡大した68疾患については、見舞金を支給する必要性があると考え、その方たちを対象とし、規則に委任するものである。

問

既認定者と新規認定者間の医療費格差を埋めるための見舞金か。

答

同条例は、一部医療費格差を埋める側面はあるものの、

本来医療費の助成を目的とした制度ではなく、あくまで特別見舞金として激励の意味で3万円を支給させていただく制度である。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第98号議案〕

指定管理者の指定の件

※敦賀市グラウンド・ゴルフ場

議案の審査に先立ち、教育委員会事務局長より、新グラウンド・ゴルフ場の開設に伴い、現在の総合運動公園のグラウンド・ゴルフ練習場は一旦閉じ、今後の運営状況を確認しながら、当該練習場の一部開放の必要性が出てきた場合は、議会と相談の上、進めて行きたいとの説明がありました。

質疑

問

選考委員会のなかで、改善点や資質向上など、指定管理者に対してお願いしたことはあるか。

答

芝の管理が高度になるので、能力の資質を十分に上げる

て運営して欲しいとお願いした。

問

指定管理者は出来る限り早い段階から研修を受ける必要があると思うが、事前準備の状況は。

答

先進地である浜名湖グラウンド・ゴルフパークに何度か視察研修に行っており、そちらの担当者が敦賀に来られた際には、常にそばについて、自ら学ぼうという意気込みで取り組んでいるとのことである。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第4号〕

子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願

意見

健康保険は、国民健康保険組合、共済組合など多岐に渡るため、県下一斉に窓口無料化を実施することが望ましいという点で、県知事宛てに各市町への要請をお願いする旨の意見書なら理解できるが、今回の文面からはそれが読

み取れない。

請願の趣旨自体は理解できるので今回は趣旨採択にしてはどうか。

採決 全会一致

意見書は提出せず、趣旨採択とすべきものと決定

〔請願第5号〕

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

討論

賛成 国が対応しなかったことによりふえた患者に対する助成の請願であり、国にしっかりと上げて欲しいので賛成したい。

意見

他の肝炎患者のことも考慮すると、特定の人のみに対する支援は公平性を欠くと思うが、注射器の打ち回し等により感染したB型・C型肝炎患者については国も責任を認めており、本請願の全体の趣旨は理解できるので、趣旨採択がいいと思う。

採決 全会一致

意見書は提出せず、趣旨採択とすべきものと決定

特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「敦賀駅周辺整備調査特別委員会」の調査の概要について紹介します。

● 原子力発電所 特別委員会 ●

日本原子力発電株式会社関係

質疑

問 洗たく廃液モニタタンク漏れ跡について、市の対応は。

答 報告を受けた当日に現場確認を行った。また、その後のヒアリング等により、系統が止まっている間の運用等を確認している。原因については現在調査中であるので、対策については、その結果を踏まえて確認していく。

日本原子力研究開発機構関係

質疑

問 ナトリウム漏えい監視用カメラの保守管理不備について、市の対応は。

答 今までの様々な努力が無に変残念である。今後、措置命令解除に向けて、退路を断って目標を達成するよう伝えた。

また、もんじゅは市民、国民の安

心安全を担保する大きな責務があり、全力を傾注して対応するよう強く伝えた。

問 監視用カメラに対する機構の認識は甘いのではないか。

答 保全計画を立てたのは機構である。機器の重要度が問題ではなく、保全計画を遵守するよう、今後も厳しく指導していく。

問 改革期間が半年延長されたことへの対応は。

答 スケジュールありきではないが、3月の目標に向けてしっかりと進めてもらうよう厳しく言及している。

「敦賀発電所敷地内破砕帯の審議についての意見書」の提出について協議を行い、全会一致をもって意見書を提出することとなりました。

※この意見書の要望事項については2ページに掲載、意見書全文については敦賀市議会ホームページにて公開しています。

● 敦賀駅周辺整備調査 特別委員会 ●

駅前広場整備について

質疑

問 工事を長い間、中断しているが、工期は間に合うのか。

答 キャンプー設置工事については、現在、工場製作や基礎を行っているところであり、なかなか市民に見えにくい工事の段階である。施業者と工程を詰めながら間に合うように進めている。



問 長期間の工事であり、仮囲いのながが見えるので、工事が中断している期間が長いのではという声も聞く。市民の理解が得られるよう、細かな配慮が必要では。

答 市民が分かりにくい部分はあると思う。工事の状況については、市のホームページで公開し

ているが、もう少し広報のやり方を考えたい。

問

キャノピー工事に伴う歩行ルートの変更について、敦賀駅交差点の商店街側から仮駅前広場側へ渡る横断歩道が規制されるというが、その期間はどれぐらいか。また、規制方法はどうするのか。

答

年明けから数ヶ月間を予定しているが、具体的な期間は業者と調整中である。なるべく短期間で済むようにしたい。

また、規制については警察と事前に相談しており、歩行者に危険が及ばないよう、案内標識や看板等により、しっかりと周知を図る。

問

駅周辺に、列車から降りてきた人などが利用できる灰皿を設置できないのか、対応をお願いしたい。

答

このことについては以前から伺っており、タバコのポイ捨ても目立っていることから、利用者の動線から外れたところに仮設の灰皿等を設置できないか検討している。



駅前広場完成後の維持管理について

質疑

オルパーク前の歩道などしているため管理は統一化すべきであるが、条例制定により統一感を保つことができるのか。

問

条例策定の前にJRと協議し、まずは管理協定を結んで合意形成を図った上で、条例制定にあたっては景観などを含めた統一的な条例化を目指したい。

答

問

窓口の一本化も検討している。

答

管理の窓口一本化も視野に入れていた。JRの考え方もあるが、利用者側から見た場合には窓口が1つに見えるように検討したい。

敦賀駅交流施設オルパーク



敦賀駅交流施設について

質疑

2階部分の利用に関して、不便だという市民の意見もあるが、その対策は。

答

プラザ万象など既存の公共施設の感覚で借りに来る方から、使いにくいとの苦情やご意見ももらっている。デザインコンセプトに基づいて建

設した交流施設であるので、そこに適した使い方について、今後とも担当者会議で議論し、PR方法も含めて検討したい。

問

ギャラリースペースの活用について、今後、山車を展示することはあるのか。

答

駅前広場完成時のオープニングイベントで山車を展示できないか、山車保存会と協議していく。

ギャラリーに関しては、指定管理者と協議し、今後も知恵を絞り工夫しながら有効活用したい。

駅東地区の計画について

質疑

敦賀の基盤となるまちづくりになるが、市はどのように進めていくのか。

答

敦賀市都市計画マスタープランでしっかりと位置付けられており、また、用途地域の部分も整合性がとれたなかで、西地区・東地区の役割分担をしっかりとした上で、全体を見据えた整備を進めたい。

一般質問

12月9日・10日・11日の3日間、17人の議員が一般質問を行いました。

下記の質問項目のうち、1人1項目（太字部分）について要約し、9～12ページに掲載しています。

一般質問 項目一覧

◎増田 敬 議員

- 1 敦賀スタンダードにおける小中一貫教育の位置づけと今後の展望について
- 2 敦賀市の人口減少対策と産業育成について

◎前川 和治 議員

- 1 経済振興について
- 2 Uターン政策について
- 3 地産地消の推進について

◎今大地 晴美 議員

- 1 北陸新幹線について
- 2 小中一貫校について

◎福谷 正人 議員

- 1 新幹線開業と敦賀駅周辺整備について
- 2 市街地の活性化について
- 3 金ヶ崎周辺整備とシティプロモーションについて

◎美尾谷 幸雄 議員

- 1 先進医療費の助成について
- 2 エボラ出血熱について
- 3 市立敦賀病院について
 - (1) 地域包括ケア病棟の利用状況
 - (2) リハビリテーション職員の充足状況
- 4 市内小中学校のトイレについて

◎常岡 大三郎 議員

- 1 経済・雇用対策について
- 2 人口減少について
- 3 観光戦略について
- 4 行財政改革について

◎力野 豊 議員

- 1 都市計画用途地域の変更について
 - (1) 用途地域の大胆な見直し
 - (2) 都市計画道路の見直し
 - (3) 駅東の都市計画
- 2 地方創生の取り組みについて
- 3 各種委員会と議会の関わりについて

◎立石 武志 議員

- 1 グラウンド・ゴルフ場の整備について
- 2 つるが観光物産フェアについて

◎岡 武彦 議員

- 1 犯罪者や非行歴のある人への更生支援について

◎北條 正 議員

- 1 金ヶ崎城趾と桜の共存について
- 2 敦賀いきいき永年大学院について
- 3 敦賀市立看護大学の魅力と経営体力について
- 4 エネルギー拠点化計画と研究用原子炉について

◎田中和義 議員

- 1 林業振興と減災について
- 2 原子力政策について

◎馬 淵 清和 議員

- 1 公共施設等総合管理計画について

◎堂前一幸 議員

- 1 女性幹部管理職の登用について
- 2 農業問題について
 - (1) 本市の生産米の販売先
 - (2) 有害獣対策
 - (3) 木崎山の整備
 - (4) 担い手補助事業の検証結果

◎山本 貴美子 議員

- 1 人口減少を食い止める対策について
- 2 地産地消の学校給食について
- 3 原子力防災について

◎原 幸雄 議員

- 1 敦賀市の人口減少対策について

◎高野 新一 議員

- 1 新幹線敦賀までの延伸に伴う問題について

◎佐々木 真 議員

- 1 公務員改革と公務員採用制度について
- 2 中郷小学校に関する通学路の安全確保について

教育

敦賀スタンダードにおける小中一貫教育の位置づけと今後の展望について

増田 敬

問 敦賀スタンダードにおける、小中一貫教育について想定される具体的な事業内容について伺う。

答 角鹿中学校区における小中一貫教育の新たな学校作りについて、敦賀市小中一貫教育検討委員会に諮問し、答申をいただいた内容として、施設一体型で、4・3・2年制の学年編成が望ましく、対象区域外からの通学についても学校運営に支障のない範囲で柔軟に認めることなどがあつた。この答申について重く受け止め、敦賀市としての基本的な方針を決定していきたいと考えている。



敦賀いきいき永年大学院について

北條 正

問 敦賀市公共施設を有効に生かしながら、ボランティアの企画、運営などで永続的に楽しめ、元気な高齢者育成という視点から「敦賀いきいき永年大学院」をご提案し、ご意見を伺う。

答 今後の長寿社会における生涯学習政策の方向性として、学習者の主体的な学びの支援あるいは学びの環境の整備はもちろん、多様な学習機会の提供が必要になる。



地産地消の学校給食について

山本 貴美子

問 敦賀は水も米も魚もおいしい。これらを実感できる機会

が減っているなか、学校給食の果たす役割は大きい。地元の米、野菜、魚、昆布加工品等を積極的に給食に取り入れるために、関係者が集まって進めていく体制が必要。

答 敦賀合同青果、JA敦賀、学校給食センター、教育政策課、栄養士、調理員、農林水産振興課で学校給食地産地消連携会議を立ち上げたが数年開いていない。今後、メンバーに漁業関係者も加え、協議をしていきたい。



産業・経済

経済振興について

前川 和治

問 日本海側の、北陸・関西・中京の玄関口である敦賀市が、太平洋側の都市の代替都市として役割を果たせるよう、経済特区、

港湾物流特区、情報通信特区を国に申請し、新しい企業誘致の取組をしていくべきと考えるが見解を求めらる。

答 特区は、いずれも規制の特例措置を目的とするもので、法令で規定されている規制が敦賀市の地域資源を生かした産業発展の課題となり、規制の特例措置等を活用して事業を行う民間事業者等、事業主体からの熱意が高まれば、十分に検討していく。

シティプロモーションについて

福谷 正人

問 地域間競争に勝ち抜いて、交流人口の増加、定住人口の獲得、シビックプライドの形成、ひいては企業誘致につながる「シティプロモーション」、いわゆる地域の売り込みを積極的に進めていくべきであると考えますが、市長の所見を伺う。

答 企業誘致や観光振興、いろいろなものがシティプロモーションであったと思う。そういうこ

とを前面に打ち出して知っていただくことは非常に大事であるので、これからもいろいろな広報活動を通じて行っていく。

観光戦略について

常岡 大三郎

現在、鉄道ジオラマを中心とした赤レンガ倉庫の改築が行われているが、それだけでは観光客はしりすばみになる。選択・集中した敦賀港のウォーターフロント計画を早急に作り、プロパーな人材を登用し、交流人口の拡大を目指さなければならない。

金ヶ崎周辺整備構想にウォーターフロントが一括に含まれていると理解している。民間人等の雇用については担当部署との綿密な連携を図り、業務の必要性、雇用の効果、また他の事例などを一般的に含めて検討していく。



グラウンド・ゴルフ場の整備について

立石 武志

新設中のグラウンド・ゴルフ施設を新たな観光の拠点としての位置づけをして、誘客を図る必要があると考えるがどうか。

また、安価で単純にゲームを楽しむ市民のため、運動公園の練習コース、1コースを使用させてはいいかか。

指定管理者と協議しながら、隣接するリラ・ポートの相乗効果を最大限に図るとともに、市内の観光施設などとも連携し交流拠点施設としての充実を進めていきたい。

また、運動公園のコースについては、一部を残して使っていたかといと考えるが、今後の運営状況を確認しながら議会と相談して進めさせていきたい。

行政

公務員改革と公務員採用制度について

佐々木 真

地域の拠点となる公民館や図書館に対する地域での役割が重要になり、市民ニーズが多様化するなか、定員削減等でコストが下がることは歓迎されるが、行政サービスの質を向上させるために今の人員配置は適正なのか。

図書館は、14名中、生涯学習センター所長兼務の1名を含む2名の正規職員のみである。今後の公民館・図書館で、地域の活力を生み出すための形での業務がふえてくるようであれば、その業務量等を見極めながら人事当局に対して、適切な人員を要望していきたい。



犯罪者や非行歴のある人への更生支援について

岡 武彦

犯罪者や非行歴のある人たちの再犯を防止するために、敦賀地区更生保護協力雇用主会が10月14日に設立され、犯罪者等の更生のため進んで雇用することである。敦賀市はどのような応援対策を取るのか。

再犯を防ぐ、このことが犯罪を減らしていく第一歩だと考えている。

敦賀地区更生保護協力雇用主会の設立に際し、敦賀地区保護司会から敦賀市に、協力雇用主に対する公共工事競争入札における優遇制度の導入について要望があったため、建設工事業者の格付における加点点目として追加した。

敦賀市の人口減少対策について

原 幸雄

若年女性への対策として、子育て支援の強化・拡充を図

りたいとのことだが、一方で若年男性に焦点を当てると、その流入と流出を抑制する必要性を考慮した場合、雇用の安定が重要になると考えられるが、どのように考えているか。

答 雇用安定化を図るためには、まずは雇用の場をつくるというのが大前提である。現在いろいろな形で企業誘致を行っており、また立地企業への聞き取りや商工会議所等との連携など、各種、敦賀市で行える施策を行っている。



女性幹部管理職の登用について

堂前一幸

問 敦賀市一般行政職の指導的地位の女性管理職の登用割合は大変低い。福井県は全国21位、県内各市の状況は。女性管理職・幹部管理職の登用が伸びなかつた理由は。

また、今後の登用に対する考え方は。

と対策を伺う。

答 福井市7.4%、敦賀市9.1%、小浜市9.8%、大野市13.3%、勝山市7.4%、鯖江市19.4%、あわら市6.3%、越前市13.1%、坂井市24.8%である。

女性管理職の登用が伸びなかつたことについては、職員の男女比が8対2であることが主な原因であると考えており、今後、女性対象のリーダー育成研修等の機会をふやし、男女問わず能力、意欲のある職員を管理職に登用していきたい。



新幹線

北陸新幹線について

今大地 晴美

問 2012年6月の認可ルートは、2002年のアセス

ルートに比べ、ラムサークル登録地の中池見湿地に与える影響が多々であることは周知しているはずだが、2012年6月以降、市は鉄道運輸機構とどのような協議、交渉を行ってきたのかを問う。

答 敦賀市では中池見湿地の保全と新幹線整備とは共存共栄という形で取り組んでいくという方向性にある。特に保全の部分に対して最大限の対策を講じていく必要がある、そのことについては継続的に強く機構に求めてきている。

新幹線敦賀までの延伸に伴う問題について

高野新一

問 北陸新幹線工事着工に伴う長期にわたるビジョンが必要になるが、敦賀市の方針は。また、これに伴う財政計画は。

答 金沢開業から10年のプランは大きいと思われる。関西圏と共同して早く大阪乗り入れを実現させるべきであると思うので、しっかりと対応していきたい。財政に関して、財源の検討も必要

となる。利用者の利便性と沿線市町の負担軽減のバランスがとれるような協議、議論をしていきたい。



病院

地域包括ケア病棟の利用状況

美尾谷 幸雄

問 地域包括ケアシステムを支える病棟として、本年10月、敦賀病院本館7階病棟に地域包括ケア病棟を設置するとの回答をいただいた。設置から2カ月経過したが、患者数、利用率などの状況について伺う。

答 現在、検証中である。今後の病棟、病床のあり方については、その検証・分析の結果とともに、国の医療制度、地域の医療・介護の資源、高齢化の進展および医療

ニーズの見通しを踏まえた上で、病床数等の運営方法の見直しを適切に行っていききたい。



まちづくり

都市計画用途地域の変更について

力野 豊

問 用途地域は、昭和48年の見直しから現在までは変わっていない。農地や雑種地も住宅専用地域に指定されているが、中小企業が投資しやすいように事務所や工場が建てられる商業地域や準工業地域に変更を。

答 人口減少問題が顕在化してきて、用途地域は適正かという議論は起きてくる。地域戦略・地方戦略のなかでそれに合わせ、敦賀

市の用途地域はどれぐらいの規模か、また住宅専用はどれぐらいか、中身を精査し適正なものはないかという検討は、やってしかるべき。



公共施設等総合管理計画について

馬淵 清和

問 高度成長期に建設された市の保有する建築物は、間もなく耐用年数を迎える。例えば、耐用年数まで施設を使用し全ての建築物を同規模で更新すると仮定した場合、更新費用とピーク時期は。またそのときの人口と財政状況の予測は。

答 市税で更新が必要となる公共施設を同規模で建て替えるには、約850億円が必要。また、更新時期は学校をはじめ2020年から30年までがピークで

あり、人口も40年ごろには6万人を割り込み、財政運営も一層厳しくなると考える。

原子力

原子力政策について

田中和義

問 有識者会合で、敦賀発電所破砕帯調査について説明もなく評価書案を取りまとめているのは、立地地域の軽視である。立地地域である敦賀市民にとっては、論点がどこにあるのかさえ説明されていないことが不安を助長している。

答 私どもに説明もできないような有識者会合というのは、一体何だったのかなという思いを持っている。

これからも毅然とした態度で、立地地域としての思いを、議会の皆さん方とともに国などにしっかり届けていきたい。



請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみなさんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

*該当要件

- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・公益的性格を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

【書式例】

年月日

請願（陳情）書
敦賀市議会議長 殿

紹介議員（請願のみ）
住所 ……………
氏名 ……………

……………について

請願（陳情）趣旨
……………

請願（陳情）事項
1 ……………
2 ……………

審議結果一覧

平成26年第4回定例会では、平成26年度各会計補正予算案11件、条例案3件、一般議案6件、報告議案1件、議会提出議案3件、請願2件、陳情2件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成26年度敦賀市一般会計補正予算（第6号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成26年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正の件	総務民生	可決
職員の給与に関する条例及び敦賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市特定疾患特別見舞金支給条例の一部改正の件	文教厚生	可決

3 一般・人事案件

件名	付託委員会	結果
平成25年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	認定
平成25年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	認定
平成25年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	可決
平成25年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	認定
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	文教厚生	可決

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（平成26年度敦賀市一般会計補正予算（第5号））	承認

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
「今後の水田農業政策に関する意見書」提出の件	—	可決
「農業改革に関する意見書」提出の件	—	可決
「敦賀発電所敷地内破砕帯の審議についての意見書」提出の件	—	可決

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願	文教厚生	趣旨採択
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	文教厚生	趣旨採択
今後の水田農業政策に関する陳情	産経建設	採択
農業改革に関する陳情	産経建設	採択

議会日誌

平成26年9月30日以降の主な議会活動の紹介です。

2月	1月	12月	11月	10月
9日(月) 各派代表者会議	26日(月) 広報広聴委員会	19日(金) 議会運営委員会、全員協議会 本会議(12月定例会閉会)	25日(火) 議会運営委員会	31日(金) 産経建設常任委員会市内現地視察
16日(月) 議員説明会、広報広聴委員会 議会運営委員会		16日(火) 予算決算常任委員会全体会 文教厚生常任委員会	13日(木) 各派代表者会議	27日(月) 福井県市町議会議員合同研修会
		15日(月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会 原子力発電所特別委員会	10日(月) 福井県市議会議長会議員研修会	23日(木) 文教厚生常任委員会行政視察
		12日(金) 敦賀駅周辺整備調査特別委員会	7日(金) 福井県市議会議長会議員研修会	15日(水) 議員説明会、広報広聴委員会 議員研修会
		11日(木) 一般質問	3日(水) 全員協議会、本会議(12月定例会開会)	
		10日(水) 一般質問	2日(火) 本会議(12月定例会開会)	
		9日(火) 一般質問	3日(水) 予算決算常任委員会全体会・分科会	

敦賀市議会ホームページにアクセス!

敦賀市議会 検索

以下のような情報を公開しています

- 過去(平成22年から)の本会議の映像
定例会ごと、議員ごとに見られます
会期中は本会議の中継も行います
- 議員について
顔写真、連絡先、所属会派や委員会
- 議会について
会期日程、審議結果、意見書
- 議会報告会について
アンケート結果、会場ごとの報告書
- 議会だより
バックナンバーはホームページで公開

議会報告会の報告書なども公開中!

3月定例会の日程(予定)

議会を傍聴される方は、当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

- 2月25日(水) 本会議 ! 議案の説明・質疑
- 26日(木) 委員会 ・ 予算決算常任委員会(補正基本質疑)
- 3月2日(月) 委員会 ・ 予算決算常任委員会(補正審査)
(補正採決、当初基本質疑)
- 3日(火) 委員会 ・ 予算決算常任委員会分科会(当初審査)
- 9日(月) 本会議 ! 委員長報告採決補正、一般質問
- 10日(火) 本会議 ! 一般質問
- 11日(水) 本会議 ! 一般質問
- 12日(木) 委員会 ・ 常任委員会
- 13日(金) 委員会 ・ 原子力発電所特別委員会
- 16日(月) 委員会 ・ 予算決算常任委員会(当初採決)
- 19日(木) 本会議 ! 委員長報告・討論及び採決(当初等)

! 本会議は、午前10時からテレビ中継とインターネット中継を予定しています。

編集後記



平成27年半年あけましておめでとございます。

「光陰矢のごとし」と言われていますが、本当に年月の経つのは早いもので、今年は一地方選挙の年です。

去る方、また転進される方
と思いはそれぞれであります
が、敦賀市を少しでも良くしたい気持ちで、任期満了まで
全力を挙げて責任を全うする
所存です。

市民の皆様におかれましても、敦賀市議会に対して変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 広報広聴委員会
- 委員長 別所 治
- 副委員長 佐々木 真
- 委員 北村 伸 治
- 委員 山本 貴美子
- 委員 力野 豊
- 委員 増田 敬
- 委員 高野 新一

発行：敦賀市議会
住所：敦賀市中央町 2丁目1番1号
電話：22-8157
Eメール：gikai@ton21.ne.jp